

## XI 学部の点検評価および改善のためのシステム

### 1 茨城大学教育学部点検・評価委員会規則

(平成 3 年 12 月 11 日制定)

改正

平成 22 年 12 月 21 日規則第 100 号

(設置)

第 1 条 この規則は、茨城大学教育学部教授会規則第 7 条第 2 項の規定に基づき、茨城大学教育学部点検・評価委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営等に関し必要な事項を定める。

[茨城大学教育学部教授会規則第 7 条第 2 項]

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 学部(野)の中期目標・計画及び年度計画の作成への参与とその点検・評価資料等の作成に関する事項
- (2) 各委員会及び教室・教員の活動の調査及び点検・評価に関する事項
- (3) 学部において点検評価すべき事項等の検討と作業の実施に関する事項
- (4) 人事評価の方法に関する事項
- (5) 教員の教育、研究、地域貢献活動、学部運營業務等の調査及び点検・評価に関する事項
- (6) その他学部における点検・評価に関する事項

(組織)

第 3 条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 企画運営会議の議を経て学部長が教授会に推薦し、教授会において信任投票で承認された者 1 人
- (2) 別表に掲げるブロックから推薦された者 各 2 人

[別表]

2 前項各号に掲げる委員は、学部長が委嘱する。

(任期)

第 4 条 前条第 1 項に掲げる委員の任期は、2 年とし、再任を妨げない。

2 欠員により補充された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、第 3 条第 1 項第 1 号の委員をもって充てる。

[第 3 条第 1 項第 1 号]

3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

4 副委員長は、委員の互選により定める。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(会議)

第 6 条 委員会は、委員の 3 分の 2 以上の出席がなければ会議を開くことができない。

2 委員会において議決を要する事項については、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第 7 条 委員会において必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求めて、その意見を聴くことができる。

(小委員会)

第 8 条 委員会に、必要に応じ小委員会を置くことができる。

2 小委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

(庶務)

第 9 条 委員会の庶務は、教育学部事務部において処理する。

附 則

1 この規則は、平成 3 年 12 月 11 日から施行する。

2 この規則施行後、最初に委嘱される委員の任期は、第 4 条第 1 項の規定にかかわらず、半数の者については平成 5 年 3 月 31 日までとし、他の半数の者については平成 6 年 3 月 31 日までとする。

附 則

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、平成 18 年 9 月 20 日から施行し、平成 18 年 4 月 1 日から適用する。

附 則(平成 22 年 12 月 21 日規則第 100 号)

平成 22 年 12 月 21 日から施行し、平成 22 年 4 月 1 日から適用する。

別表(第 3 条関係)

ブロック	教室等名
第 1 ブロック	国語教育、社会科教育、英語教育、学校教育、障害児教育、教育保健
第 2 ブロック	音楽教育、美術教育、技術教育、家政教育、情報文化、附属教育実践総合センター
第 3 ブロック	数学教育、理科教育、保健体育、人間環境教育、(学校臨床心理)

## 2 授業評価の実施

### 2-1 学部

#### 2-1-1 平成 25 年度（2013 年度）授業アンケートおよび自己点検評価の実施

##### (1) 授業アンケートの実施趣旨と流れ

以下は授業アンケートの調査に際し配布した依頼文（前期）

平成 25 年 7 月 10 日

教育学部教員各位

教育学部 点検・評価委員会

#### 平成25年度前期・学生授業アンケート調査の実施について（お願い）

平成25年度年度計画に基づき、学生による授業アンケート調査を行います。本調査の目的は、学部としての教育効果の向上および教員の授業・教育活動の改善にあります。

本調査は、先日確認した「指定3科目（前期1科目・後期1科目・教養1科目）」のうち、後期の教育学部専門科目（授業）について実施します。（確認されなかったものは委員会で選択しました）

本調査の集計・分析ができ次第、担当教員にその結果を報告します。その報告をふまえて「自己点検評価」をしていただきます。

#### 【実施時期】

原則として授業最終回か定期試験期間中（7月31日～8月6日）に行ってください。

#### 【実施授業】

封筒表シールの実施科目名と、指定3科目（授業）と一致しているかご確認ください。

※ 違っている場合はお手数ですが、訂正して実施してください。

#### 【実施方法】

1. 封筒表シールの「時間割コード、授業科目名、教員名」を板書してください。  
複数のコードがある場合は、処理の都合上最初のものに統一をお願いいたします。
2. 回答用紙を受講生に配付してください。
3. 学生の代表者を決め、回答用紙回収及び教育学部学務係に届けることを依頼してください。
4. お願い文を読ませた上で、アンケートを実施してください。その際記入の注意事項を確認して下さい。

※教員は、学生のアンケートに回答中は、教室外に退席するようお願いいたします。

なお、以下についても学生にお伝え願います。

- ・ アンケートを書き終わらなかった人は個別に学務係に提出することができます。
- ・ この時間に休んだ人は学務係から回答用紙を受け取って記載し、学務係に提出できます。よろしくお願いたします。

以下は授業アンケートの調査に際し配布した依頼文（後期）

平成25年12月20日

教育学部教員各位  
教育学部 点検・評価委員会

#### 平成25年度後期・学生授業アンケート調査の実施について（お願い）

平成25年度年度計画に基づき、学生による授業アンケート調査を行います。本調査の目的は、学部としての教育効果の向上および教員の授業・教育活動の改善にあります。

本調査は、先日確認した「指定3科目（前期1科目・後期1科目・教養1科目）」のうち、後期の教育学部専門科目（授業）について実施します。（確認されなかったものは委員会で選択しました）

本調査の集計・分析ができ次第、担当教員にその結果を報告します。その報告をふまえて「自己点検評価」をしていただきます。

#### 【実施時期】

原則として授業最終回か定期試験期間中（2月4日～2月10日）に行ってください。

#### 【実施授業】

封筒表シールの実施科目名と、指定3科目（授業）と一致しているかご確認ください。

※ 違っている場合はお手数ですが、訂正して実施してください。

#### 【実施方法】

1. 封筒表シールの「時間割コード、授業科目名、教員名」を板書してください。  
複数のコードがある場合は、処理の都合上最初のものに統一をお願いいたします。
2. 回答用紙を受講生に配付してください。
3. 学生の代表者を決め、回答用紙回収及び教育学部学務係に届けることを依頼してください。
4. お願い文を読ませた上で、アンケートを実施してください。その際記入の注意事項を確認して下さい。

※教員は、学生のアンケートに回答中は、教室外に退席するようお願いいたします。

なお、以下についても学生にお伝え願います。

- ・ アンケートを書き終わらなかった人は個別に学務係に提出することができます。
- ・ この時間に休んだ人は学務係から回答用紙を受け取って記載し、学務係に提出できます。よろしく願いいたします。

アンケート用紙

2013 (H25) 年度教育学部授業アンケート

授業科目名

時間割コード

担当教員名

専門科目における教育活動を評価し改善するために授業のアンケート調査を行っています。このアンケートを有効な資料とするために、できるだけ率直で公正な回答をお願いします。このアンケートは皆さんの成績評価等には関係がありません。アンケートの結果は担当教員にフィードバックされ、授業改善の資料となります。

回答欄の 〇 を鉛筆やボールペンなどで塗りつぶしてください。[可：●、●/ 不可：○、○、○]

問 1	この授業の初回で、授業計画（シラバス）や評価方法の説明がされましたか？				
①	②	③	④	⑤	
十分 された	ある程度 された	わからない	あまり されなかった	されなかった	
問 2	あなたはこの授業でとりあげた内容を理解できましたか？				
①	②	③	④	⑤	
理解 できた	おおむね 理解できた	どちらとも 言えない	あまり理解 できなかった	理解 できなかった	
問 3	教員の声の出し方、話し方は適切でしたか？				
①	②	③	④	⑤	
適切 だった	おおむね 適切だった	どちらとも 言えない	あまり適切で なかった	適切で なかった	
問 4	講義系科目はAの問に、実技・演習系科目はBの問に教えてください。				
A：板書（プロジェクタ等を含む）や資料類は、見やすく適切でしたか？ B：実演や指示は適切でしたか？					
①	②	③	④	⑤	
適切 だった	おおむね 適切だった	どちらとも 言えない	あまり適切で なかった	適切で なかった	
問 5	この授業では学生の興味・関心を高める工夫・対応がありましたか？				
①	②	③	④	⑤	
あった	ややあった	どちらとも 言えない	あまりなかつ た	なかった	
問 6	この授業を受けて、あなたの知識・技能・教養は向上しましたか？				
①	②	③	④	⑤	
向上した	おおむね 向上した	どちらとも 言えない	あまり向上 しなかった	向上 しなかった	
問 7	あなたは、この授業で扱った知識・技能を深めるために、 授業時間以外に毎週の程度時間をとりましたか？				
①	②	③	④	⑤	
2時間 以上	1時間以上	30分以上	30分未満	ほとんど とらなかった	
問 8	あなたは、この授業を受講したあとで、どの程度満足しましたか？				
①	②	③	④	⑤	
満足 した	おおむね 満足した	どちらとも 言えない	やや不満であ った	不満で あった	
問 9	この授業に関して気づいたことなどがあれば、自由に書いてください。 (コピーの形で授業担当者に示されますので、濃く丁寧に書いてください)				

## (2) 自己点検評価の実施趣旨と流れ

(平成 25 年 7 月 12 日 点検評価委員会委員長より全教員に依頼)

【依頼】「年報の確認」および「H24 年後期分\_教育改善評価」のお願い

(全学) 教育・業務評価会議員・評議員 木村競  
 点検・評価委員長 伊藤 孝  
 点検・評価委員会年報チーフ 石原研治

今年度、外部評価実施のため、例年、個別にご対応頂いております「年報の確認」および「H24 年後期分\_教育改善評価」を、まとめたかたちでのお願いとなってしまうまいりました。学期末が迫る大変御多忙のなか恐れ入りますが、ご対応よろしくお願ひ致します。

なお、「年報の確認」および「H24 年後期分\_教育改善評価」とも実施・提出のメ切を

平成 25 年 7 月 25 日 (木) 15:00

とさせていただきます。非常にせわしない日程となってしまうまいりましたこと、ご勘弁下さいませ。

## 1. 「年報の確認」

まずは、茨城大学研究者情報管理システムへの平成 24 年度（平成 24 年 4 月から平成 25 年 3 月末）データ（以下、H24 年報データ）入力にご協力いただき、ありがとうございます。下記の要領により、ログインおよびダウンロードして頂き、ご入力情報が正しく反映されているかどうかご確認お願ひ致します。もし、修正・追加等が必要な場合は、ダウンロードされたファイルをご修正の上、平成 25 年 7 月 25 日（木）15:00 までに、

[honda@mx.ibaraki.ac.jp](mailto:honda@mx.ibaraki.ac.jp)

宛に添付ファイルでお送り下さい。またその際の「件名」は「年報修正」として下さい。

### 1. H24 年報データの取得と保存

- (1) マニュアル「教育改善評価の実施方法」に従い、下記の「授業改善情報提供システム」URL を開く

<https://isms2.admb.ibaraki.ac.jp/eduact/index.php>

- (2) ID・パスワード（教職員メールサーバ mx のユーザー名およびパスワード）を入力
- (3) 「年報の原稿」をクリック
- (4) ダウンロードされた H24 年報データを確認

※ 修正・追加等無い場合は、下の 2. H24 年後期分\_教育改善評価にお進み下さい

- (5) もし、修正・追加等ある場合は、ワードファイル上で修正・加筆（なお、修正・加筆した箇所はすべて赤文字として下さい）
- (6) ファイル名を英文字半角の氏名+年号（例 ItoTakashiH24.doc）として保存。
- (7) 保存したワードファイルを、添付ファイルにて

[honda@mx.ibaraki.ac.jp](mailto:honda@mx.ibaraki.ac.jp)

へ送信。この際、「件名」を「年報修正」とする。

なお、この修正・加筆の過程は、あくまで年報データの修正・加筆です。

先に御入力頂きました大本の「茨城大学研究者情報管理システム」(<https://info-e.ibaraki.ac.jp/scripts/update/index.htm>)には反映されませんので、別に修正・加筆の方、必要となります。

## 2. H24 年後期分\_教育改善評価

本メールに添付の pdf ファイル「教育改善評価の実施方法」をご参照の上、「教育改善情報提供システム」へログイン頂き、(A) 教育改善評価（各科目編）、および (B) 教育改善評価（総括編）の実施をお願い致します。

なお、(A) 教育改善評価（各科目編）に関しましては、原則、平成 24 年度後期に学生授業アンケートを実施した科目についてのみで結構です。(B) 教育改善評価（総括編）は、平成 24 年度後期の教育業務全般に関する自己点検、となっております。

### (A) 教育改善評価（各科目編）

- (0) 上の「1. 年報の確認」でのログインが継続されている場合は、下の (1) (2) は省略可。
- (1) マニュアル「教育改善評価の実施方法」に従い、下記の「授業改善情報提供システム」の URL を開く。  
<https://isms2.admb.ibaraki.ac.jp/eduact/index.php>
- (2) ID・パスワード（教職員メールサーバ mx のユーザー名およびパスワード）を入力
- (3) 平成 24 年度後期の開講科目のなかから、学生授業アンケートを実施したものを探す（授業アンケートを実施した授業は、成績の頻度分布図の下に [学生授業アンケート (PDF)] の表記あり）。
- (4) 対象となる授業の科目コードの右、[この科目の自己評価を行う] をクリックし、上

記マニュアルに従い、自己評価を実施。

## (B) 教育改善評価（総括編）

- (0) これまでの作業でのログインが継続されている場合は、下の(1)(2)は省略可。
- (1) マニュアル「教育改善評価の実施方法」に従い、下記の「授業改善情報提供システム」の URL を開く
- <https://isms2.admb.ibaraki.ac.jp/eduact/index.php>
- (2) ID・パスワード（教職員メールサーバ mx のユーザー名およびパスワード）を入力
- (3) [教育改善評価・自己点検評価書（様式 1・3）] をクリックし、マニュアルに従い、平成 24 年度後期の教育業務全般に関する自己点検を実施

## (C) その他

「授業改善情報提供システム」の改善によりまして、卒論・修論指導体制や各授業の実施体制を細かく記入することが可能となっております。マニュアルに従い、卒業論文指導、修士論文指導の実績の入力をお願い致します。また、もし授業実施体制等が現実に即していないお場合は「分担率」「担当者リスト」の加筆・修正も併せてお願い致します。

問い合わせ先

○教育改善評価について：

伊藤 孝 228-8268 tito@mx.ibaraki.ac.jp

○年報の修正について：

石原研治 228-8300 ishihara@mx.ibaraki.ac.jp

○「教育改善情報提供システム」の使い方一般について：

評価室・畷田敏行 228-8572 shimadat@mx.ibaraki.ac.jp



## (3) 観点 2 自己点検評価書

観点2: 自己点検評価対象3科目における教育方法および教育成果の改善に対する取組

[平成 24 年度]

科目名:	時間割コード	履修登録者数	名
------	--------	--------	---

自己評価 ( )

S: 自己の目標以上の成果を上げた。A: 自己の目標を順調に達成した。B: 自己の目標を概ね達成したが、改善すべき点がある。C: 自己の目標を下回った。

自己評価項目1: 授業の到達目標を実現し、授業をよりよくするために取り組んだことはありますか。

自己評価項目2: これまでの授業アンケート、自己点検、学習会(FD)等を参考にした取り組みにより、教育内容、教育方法が改善・向上したことはありますか。

自己評価項目3: 学生の主体的な学習を促し、十分な学習時間を確保するための工夫をしましたか。

自己評価項目4: 授業を改善するため、教員間で問題を共有したり、取り組んだりしたことはありますか。

自己評価項目5: 学生の成績はどうでしたか。授業の成果はどのように反映されていましたか。

自己評価項目6: 授業アンケートの結果、学生からの評価はどうでしたか。授業アンケートから見てきた問題点はありますか。

(4) 観点 1 観点 3 教育改善点検評価書

平成25年度 教育改善点検評価書（教育学部）

お名前：                      教室：

[ [編集する](#) ]

観点 1：教育業務の全体的取組

自己評価	評語
	S：自己の目標以上の成果を上げた。    A：自己の目標を順調に達成した。 B：自己の目標を概ね達成したが、改善すべき点がある。    C：自己の目標を下回った。

(参考：前年度の記述)

記述：

---

観点 3：特記事項

自己評価	評語
	S：自己の目標以上の成果を上げた。    A：自己の目標を順調に達成した。 B：自己の目標を概ね達成したが、改善すべき点がある。    C：自己の目標を下回った。

(参考：前年度の記述)

記述：

[ [このウインドウを閉じる](#) ]

(5) 平成 25 年度における授業アンケートおよび自己点検評価の実施状況

対象教員数：学部 108 名、実践総合センター 2 名、大学院独立専攻 3 名

計 113 名（学部長を除く）

1) 学部専門科目授業アンケート

実施期間（前期）：平成 25 年 7 月 31 日～8 月 8 日、実施科目数 106 科目

実施期間（後期）：平成 26 年 2 月 4 日～2 月 10 日、実施科目数 106 科目

実施科目：教養科目・専門科目（前期）・専門科目（後期）から 1 科目ずつ担当教員が選定

2) 教育改善評価書「自己点検評価書（観点 2）」の作成・提出

○平成 25 年度分

作成期間：平成 25 年 7 月 12 日～7 月 25 日

提出者：84 名（72.4%）

提出科目数 279 科目

評語	S	A	B	C	未記入	計
観点 2	46	173	29	1	36	279
%	16.1%	60.7%	10.2%	0.4%	12.9%	100%

3) 「教育改善点検評価書」（観点 1・3）の作成・提出

作成期間：平成 25 年 7 月 12 日～7 月 25 日

提出者数：89 名（78.8%）

評語	S	A	B	C	未記入	計
観点 1	15	63	11	0	0	89
%	16.8%	70.8%	12.4%	0.0%	0.0%	100%
観点 3	11	41	13	0	24	89
%	12.4%	46.1%	14.6%	0.0%	27.0%	100%

## 2-1-2 授業公開

## 1) 前期公開期間：7月8日(月)～19日(金)

授業科目名	担当教員	公開日・構時	教室	備考
社会と思想	木村 競	月・1	B204	
初等音楽科教育法研究	田中 健次	月・1	C410	
図画工作科教育法研究	向野 康江	月・1	D102	
初等国語科教育法研究(A)	昌子 佳広	月・3	B204	
構造力学	野崎 英明	月・3	B205	教室はほぼ満席
倫理学特別演習 I	木村 競	月・5	A212	
図画工作科内容研究	向野 康江	月・5	B104	
知的障害児の病理	尾崎 久記	月・5	D102	
独唱 I a	谷川 佳幸	火・1	C401	
初等音楽科教育法研究	田中 健次	火・2	C410	
初等家庭科内容研究	乾 康代	火・2	B208	
国語科教育法特講 II	昌子 佳広	火・3	A224 (模擬授業室)	
英米文学概論 I	小林 英美	火・3	A534	7月9日のみ
身近な化学	松川 覚	火・4	D201	
熱学概論	矢島 裕介	火・5	A425	
デッサンの基礎 I	片口 直樹	水・4～5	B104	
教育の本質と理念	小川 哲哉	木・1	D201	7月10日のみ
初等国語科内容研究	鈴木 一史	木・2	B203	
有機化学	松川 覚	金・2	A534	
絵画基礎	片口 直樹	金・2	C111	
英米文学演習 I	小林 英美	金・3	A430	7月19日のみ
金属加工学	野崎 英明	金・3	B204	
住居環境計画学	乾 康代	金・3	B420	
コーチング論 II	勝本 真	金・3	B208	7月12日のみ
バレーボール	勝本 真	金・4	大体育館	期間外も公開
住居計画学	乾 康代	金・5	B208	期間外も公開

## 期間外公開

授業科目名	担当教員	公開日・講時	教室	備考
社会と思想	木村 競	7月22日, 29日 1 構時	B204	
倫理学特別演習 I	木村 競	7月23日, 30日 3 構時	A212	
倫理学概論	木村 競	7月23日, 30日 3 構時	B207	
発達心理学	村野井 均	7月23日 2 構時	A528	

現代社会と人間関係	村野井 均	7 月 23 日 3 構時	A430	
-----------	-------	---------------	------	--

## 2) 後期授業公開期間：12 月 9 日（月）～12 月 20 日（金）

授業科目名	担当教員	曜日 講時	教室	備考
現代のナショナリズム	木村 競	月・2	A221	
初等国語科教育法研究	鈴木 一史	月・3	B205	
発達心理学演習	村野井 均	月・4	A431	催眠実習
倫理学特別演習Ⅱ	木村 競	月・5	A212	
つながりの力	木村 競	火・5	共通 26	教養・総合科目
教育の本質と理念	小川 哲哉	木・1	D101	
発達の理解Ⅱ	村野井 均	木・1	D101	教職科目
体育科教育法研究（C）	勝本 真	木・1	体育館	12 月 19 日 （木）のみ
初等国語科内容研究	鈴木 一史	木・2	B205	
物理学実験Ⅰ	矢島 裕介	金・1～ 2	A322	2コマ連続の実験 の授業
運動学概論	勝本真	金・1	B209	12 月 20 日 （金）のみ

## 2-1-3 過去 5 間の授業アンケート実施状況

年度	実施学期	実施科目数
H21	前期	115
	後期	108
H22	前期	112
	後期	102
H23	前期	99
	後期	106
H24	前期	98
	後期	94
H25	前期	106
	後期	106

## 2-2 大学院教育学研究科

## 2-2-1 平成 25 年度授業アンケート

以下は配布したアンケート用紙である。授業の形式により、2 つのアンケート用紙を用意し形式にあった方のアンケートに回答してもらった。A タイプ：演習形式、B タイプ：講義形式。

## 平成 25 年度教育学研究科授業アンケート

## (A タイプ：演習形式)

授業科目名 ( )

担当教員名 ( )

授業科目における教育活動を評価し改善するために授業のアンケート調査を行っています。このアンケートを有効な資料とするために、できるだけ率直で公正な回答をお願いします。このアンケートは皆さんの成績評価等には関係ありません。アンケートの結果は担当教員にフィードバックされ、授業改善の資料となります。

下記、各問いについて、該当に○をつけてください。自由記述の欄についてはお気づきの点がありましたら意見をいただけますようお願いいたします。

問 1 この授業の初回で、授業計画(シラバス)や評価方法の説明がされましたか。

- ①されなかった ②あまりされなかった ③わからない ④ある程度された  
⑤十分された

問 2 あなたはこの授業でとりあげた内容を理解できましたか。

- ①理解できなかった ②あまり理解できなかった ③どちらとも言えない ④おおむね理解できた ⑤理解できた

問 3

(a) あなたはこの授業で充実した話し合い活動ができましたか。

- ①全くできなかった ②あまりできなかった ③どちらとも言えない ④ある程度できた ⑤十分できた

(b) 授業で他の発表を聞いて、テーマに対する興味関心が広がり、授業に対して積極的な取り組みができましたか。

- ①全くできなかった ②あまりできなかった ③どちらとも言えない ④ある程度できた ⑤十分できた

問 4 あなたはこの授業の参考資料類を有効に活用できましたか。

- ①全くできなかった ②あまりできなかった ③どちらとも言えない ④ある程度できた ⑤十分できた

問 5 この授業では学生の興味・関心を高める工夫・対応がありましたか。

- ①なかった ②あまりなかった ③どちらとも言えない ④ややあった ⑤あった

問 6 この授業を受けて、あなたの知識・技能・教養は向上しましたか。

- ①向上しなかった ②あまり向上しなかった ③どちらとも言えない ④おおむね向上した ⑤向上した

問 7 あなたは、この授業で扱った知識・技能を深めるために、授業時間以外に毎週どの程度時間をとりましたか。

- ①ほとんどとらなかった ②30分未満 ③30分以上 ④1時間以上 ⑤2時間以上

問 8 あなたは、この授業を受講したあとで、どの程度満足しましたか。

- ①不満であった ②やや不満であった ③どちらとも言えない ④おおむね満足した ⑤満足した

問 9 この授業に関して気づいたことなどがあれば、自由に書いてください。

## 平成 25 年度教育学研究科授業アンケート

### (B タイプ：講義形式)

授業科目名 ( )

担当教員名 ( )

授業科目における教育活動を評価し改善するために授業のアンケート調査を行っています。このアンケートを有効な資料をするために、できるだけ率直で公正な回答をお願いします。このアンケートは皆さんの成績評価等には関係ありません。アンケートの結果は担当教員にフィードバックされ、授業改善の資料となります。

下記、各問いについて、該当に○をつけてください。自由記述の欄についてはお気づきの点がありましたら意見をいただけますようお願いします。

問 1 この授業の初回で、授業計画(シラバス)や評価方法の説明がされましたか。

- ①されなかった ②あまりされなかった ③わからない ④ある程度された  
⑤十分された

問 2 あなたはこの授業でとりあげた内容を理解できましたか。

- ①理解できなかった ②あまり理解できなかった ③どちらとも言えない ④お  
おむね理解できた ⑤理解できた

問 3 教員の声の出し方、話し方は適切でしたか。

- ①適切ではなかった ②あまり適切でなかった ③どちらとも言えない ④お  
おむね適切だった ⑤適切だった

問 4 板書(プロジェクタ等を含む)や資料類は、見やすく適切でしたか。

- ①適切ではなかった ②あまり適切でなかった ③どちらとも言えない ④お  
おむね適切だった ⑤適切だった

問 5 この授業では学生の興味・関心を高める工夫・対応がありましたか。

- ①なかった ②あまりなかった ③どちらとも言えない ④ややあった ⑤あ  
った



問 6 この授業を受けて、あなたの知識・技能・教養は向上しましたか。

- ①向上しなかった ②あまり向上しなかった ③どちらとも言えない ④おおむね向上した ⑤向上した

問 7 あなたは、この授業で扱った知識・技能を深めるために、授業時間以外に毎週どの程度時間をとりましたか。

- ①ほとんどとらなかった ②30分未満 ③30分以上 ④1時間以上 ⑤2時間以上

問 8 あなたは、この授業を受講したあとで、どの程度満足しましたか。

- ①不満であった ②やや不満であった ③どちらとも言えない ④おおむね満足した ⑤満足した

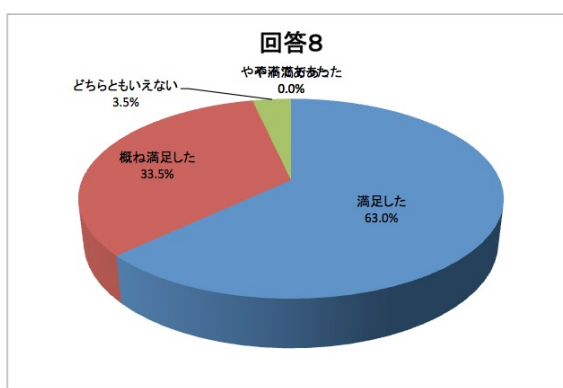
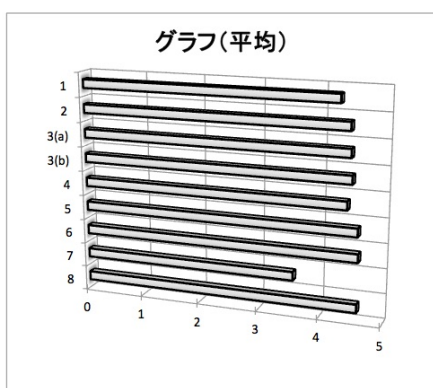
問 9 この授業に関して気づいたことなどがあれば、自由に書いてください。

2-2-2 平成 25 年度授業アンケート結果

(1) 前期 A タイプ

平成25年度教育学研究科授業アンケート(Aタイプ)  
 <教育学研究科全体>

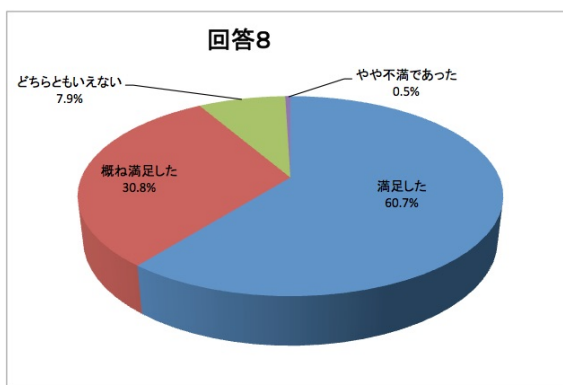
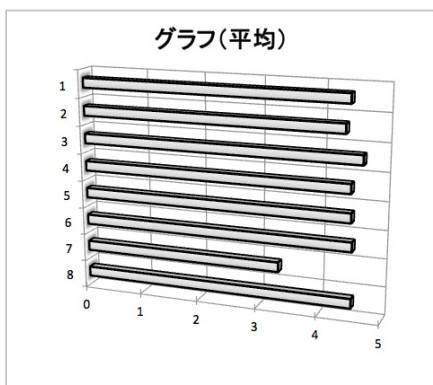
問	項目	平均					
			5	4	3	2	1
1	この授業の初回で、授業計画書(シラバス)や評価の方法の説明がされましたか。	4.3	110	54	17	19	
2	あなたはこの授業で取り上げた内容を理解できましたか。	4.4	101	87	11	1	
3(a)	あなたはこの授業で充実した話し合い活動ができましたか。	4.5	121	55	18	6	
3(b)	授業で他の発表を聞いて、テーマに対する興味関心が広がり、授業に関して授業に対して積極的な取り組みができましたか。	4.5	113	74	9	4	
4	あなたはこの授業の参考資料類を有効に活用できましたか。	4.4	109	72	11	8	
5	この授業では学生の興味・関心を高める工夫・対応がありましたか。	4.6	131	56	12	1	
6	この授業を受けて、あなたの知識・技能・教養は向上しましたか。	4.6	131	58	11		
7	あなたは、この授業で扱った知識・技能を深めるために、授業時間以外に毎週の程度時間を取りましたか。	3.6	59	49	48	34	10
8	あなたは、この授業を受講した後、どの程度満足しましたか。	4.6	126	67	7		



(2) 前期 B タイプ

平成25年度教育学研究科授業アンケート(Bタイプ)  
 <教育学研究科全体>

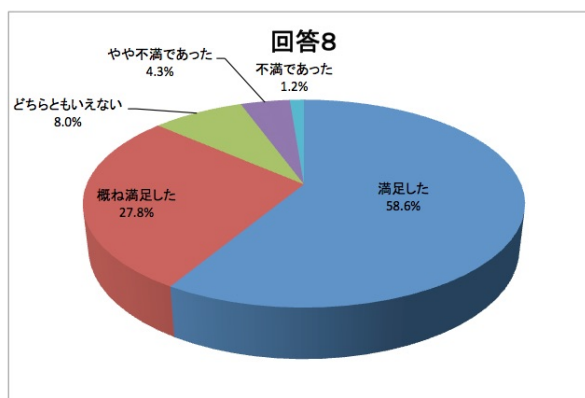
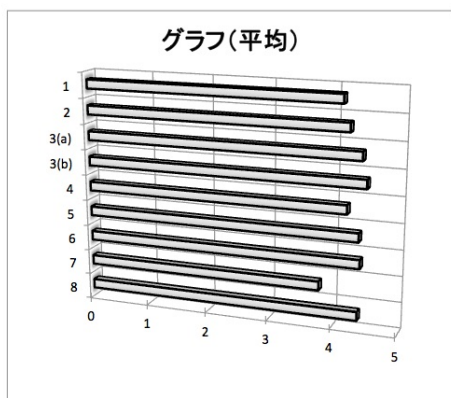
問	項目	平均					
			5	4	3	2	1
1	この授業の初回で、授業計画書(シラバス)や評価の方法の説明がされましたか。	4.4	129	58	20	7	
2	あなたはこの授業で取り上げた内容を理解できましたか。	4.4	110	82	16	4	2
3	教員の声の出し方、話し方は適切でしたか。	4.7	159	40	12	2	1
4	板書(プロジェクタ等を含む)や資料類は、見やすく適切でしたか。	4.5	128	62	23		1
5	この授業では学生の興味・関心を高める工夫・対応がありましたか。	4.5	128	65	19	2	
6	この授業を受けて、あなたの知識・技能・教養は向上しましたか。	4.5	127	71	15	1	
7	あなたは、この授業で扱った知識・技能を深めるために、授業時間以外に毎週の程度時間を取りましたか。	3.3	55	43	54	43	19
8	あなたは、この授業を受講した後、どの程度満足しましたか。	4.5	130	66	17	1	



(3) 後期 A タイプ

平成25年度教育学研究科授業アンケート(Aタイプ)  
 <教育学研究科全体>

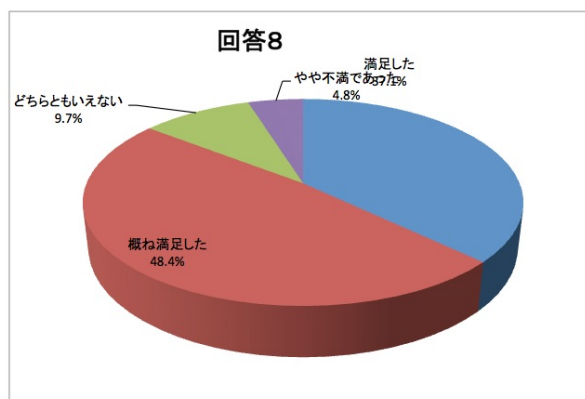
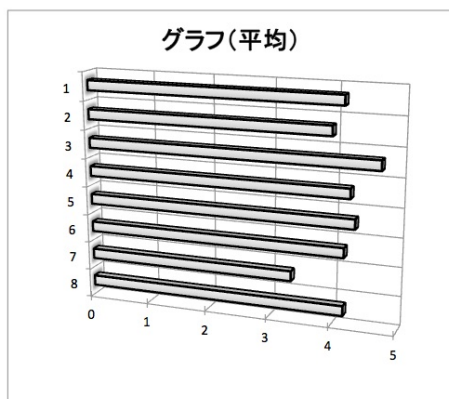
問	項目	平均	平均				
			5	4	3	2	1
1	この授業の初回で、授業計画書(シラバス)や評価の方法の説明がされましたか。	4.1	70	55	23	14	
2	あなたはこの授業で取り上げた内容を理解できましたか。	4.2	61	81	15	5	
3(a)	あなたはこの授業で充実した話し合い活動ができましたか。	4.4	83	66	10	3	
3(b)	授業で他の発表を聞いて、テーマに対する興味関心が広がり、授業に関して授業に対して積極的な取り組みができましたか。	4.5	92	58	11	1	
4	あなたはこの授業の参考資料類を有効に活用できましたか。	4.2	69	64	21	8	
5	この授業では学生の興味・関心を高める工夫・対応がありましたか。	4.4	98	38	17	8	1
6	この授業を受けて、あなたの知識・技能・教養は向上しましたか。	4.4	87	57	15	3	
7	あなたは、この授業で扱った知識・技能を深めるために、授業時間以外に毎週どの程度時間を取りましたか。	3.8	61	43	29	20	9
8	あなたは、この授業を受講した後、どの程度満足しましたか。	4.4	95	45	13	7	2



(4) 後期 B タイプ

平成25年度教育学研究科授業アンケート(Bタイプ)  
 <教育学研究科全体>

問	項目	平均	平均				
			5	4	3	2	1
1	この授業の初回で、授業計画書(シラバス)や評価の方法の説明がされましたか。	4.1	23	26	12	1	
2	あなたはこの授業で取り上げた内容を理解できましたか。	4	9	43	9	1	
3	教員の声の出し方、話し方は適切でしたか。	4.7	45	16	1		
4	板書(プロジェクタ等を含む)や資料類は、見やすく適切でしたか。	4.3	24	30	8		
5	この授業では学生の興味・関心を高める工夫・対応がありましたか。	4.3	28	27	7		
6	この授業を受けて、あなたの知識・技能・教養は向上しましたか。	4.2	16	41	5		
7	あなたは、この授業で扱った知識・技能を深めるために、授業時間以外に毎週どの程度時間を取りましたか。	3.4	11	21	11	17	2
8	あなたは、この授業を受講した後、どの程度満足しましたか。	4.2	23	30	6	3	



## 3 FD の実施

## 3-1 過去 5 年間の FD の実施状況

年月日	担当委員会等	題 目	講 演 者	実施場所
H26.3.14	大学教育センター	学習成果測定と教養教育における質的保証	小湊卓夫、寫田敏行	理学部インタビュースタジオ
H26.3.4	大学院専門委員	大学院教育学研究科インターンシップ	橋浦洋志、小川哲哉、鈴木一史、	教育学部プレゼンテーションルーム
H25.11.6	学生就職支援センター	学生の就職活動と就職支援体制の課題	清山玲、木村美智子、仁木雄三、横木裕宗、岡山毅	理学部インタビュースタジオ
H25.10.24, 10.31, 11.14, 11.21	大学教育センター	e ラーニングシステム「RENANDI」等の講習会	宇野美由紀、松村 初、勝本真	共通教育棟 1 階 FD 研究室
H25.6.26	大学教育センター	教養教育における授業改善の取り組み	藤原智栄美、平澤剛、岡山陽子	理学部インタビュースタジオ
H25.2.27	大学教育センター	教養教育における学習成果と学修時間	小湊卓夫、寫田敏行	理学部インタビュースタジオ
H25.1.24, 1.30, 2.14, 2.26	大学教育センター	オーディエンス・レスポンス・システム「クリッカー」の教員向け講習会	勝本真、百武慶文、宇野美由紀、柳澤大地	共通教育棟 1 階 FD 研究室
H24.11.14, 11.28, 12.12	大学教育センター	e ラーニングシステム「RENANDI」等の講習会	勝本真、宇野美由紀	共通教育棟 1 階 FD 研究室
H24.6.13	入学者選抜方法検討委員会	教育学部入試に関する課題	泉岡明、照山敏明	教育学部プレゼンテーションルーム

H24.3.2	大学院専門委員会	我が国における海外 教員養成に関する研 究レビュー	加藤崇英	教育学部プ レゼンテー ションルー ム
H24.2.17	大学院専門委員会	大学院海外授業の成 果報告と学術的検討	参加大学院生 及び教員 他	教育学部プ レゼンテー ションルー ム
H23.2.16	点検・評価委員会、 教務委員会	卒業研究指導及び教 職実践演習に関する FD研究会	東條吉邦、島 剛、杉本憲子	教育学部プ レゼンテー ションルー ム
H22.12.15	大学院専門委員会	大学院 GP 授業に関す る FD 研究会	橋浦洋志 他	教育学部 B205
H22.10.1	研究教育支援委 員会	科研費獲得のための 相談会	なし	教育学部第 二会議室
H22.2.23	教務委員会	授業の在り方に関す る FD 研究会	竹野英敏、林延 哉	教育学部 B202
H21.7.30	研究・教育支援委 員会	科研費申請に伴う研 究交流会	1.新井英靖（大 谷忠、勝二博 亮、丸山広人、 金丸隆太、新井 英靖） 2.伊藤孝 3.荒川智	茨苑会館集 会室 A